

六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第29号
校長 加藤 浩昭
令和6年3月4日

3月。今年度も残すところ1ヶ月を切りました。1年間の総まとめ、そして新年度の準備も大詰めを迎えます。

今週は7日(木)に公立高等学校の一般入試があります。当日に向かう人はまずは体調を整え、持てる力を精一杯発揮してきて下さい。7日を過ぎれば14日(木)に実施される第39回卒業証書授与式に向けた準備が本格的に始まります。1年間「六中の顔」として様々な活動で学校をリードしてくれた3年生への感謝を込めた、心温かな式を全校生徒の手で創って欲しいと願っています。

駅伝チームが始動しました

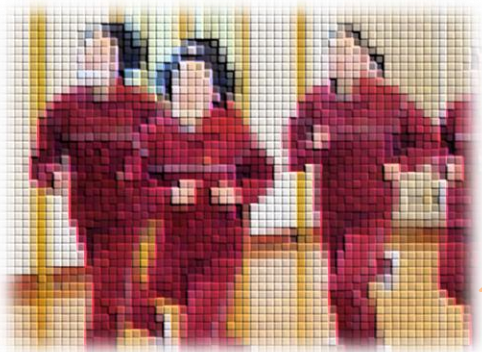
5月15日(水)に予定されている令和6年度の飽海地区中学校駅伝大会に向けて、六中チームが立ち上がり、本日より練習が始まりました。男子12名、女子9名が駅伝チームに参加してくれています。他校では男子6名、女子5名のメンバーが揃わず苦勞をしているという話も耳にします。そうした中、練習を通して自分を鍛えるために、学校を代表して走ることを粹に感じて、多くの皆さんが積極的に参加を申し出てくれたことが何よりも嬉しいことです。メンバー同士、切磋琢磨し合い個人・チームの力を伸ばして欲しいと思います。

全校生の皆さん、六中駅伝チームに声援をお願いします



菅原希一さん(2-1) 大塚崇開さん(2-2)
藤田春輝さん(2-3) 仲條翔稀さん(2-3)
吉村篤生さん(2-3) 金子瑛音さん(2-4)
中西きらりさん(2-4) 齋藤大和さん(1-1)
佐藤陽介さん(1-1) 住石悠真さん(1-1)
仲條羽玖さん(1-4) 荒木一桜さん(1-4)

石井桜子さん(2-1) 樋口一花さん(2-2)
渡部 鈴さん(2-3) 池田柚葵さん(2-4)
栄田柚菜さん(2-4) 須田美海さん(1-1)
小松あさひさん(1-3) 小野山寧音さん(1-3)
池田心希さん(1-4)



~令和6年度の教育課程・教育計画より~

令和6年度の教育課程・教育計画づくりも大詰めを迎えています。

本校に限らず、現在各校が計画づくりに苦慮している要因として、主に次の2つが上げられます。

①夏休み前後の酷暑・熱中症リスクへの対応。②標準授業時数(1086時間)を守る。この2点については文部科学省、県教育委員会からの強い指導が入っています。先だっで行われたPTA評議員会、2学年PTA研修会でも触れさせていただきましたが、改めて皆様に現時点で本校が考えている変更点をお知らせします。

① 1学期終業式と2学期始業式を後ろにずらします。1学期終業式は7月30日(金)、2学期始業式は8月27日(月)。従って夏休みは7月31日(土)から8月26日(月)となります。

- ② 運動会は10月10日(木)に実施します。運動会が後ろにずれた分、合唱コンクールも11月7日(木)と例年よりも遅い開催となります。会場は希望ホールです。
- ③ 定期テストは学期1回とします。現時点では6月26日(水)、11月21日(木)、2月13日(木)に実施する計画です。定期テストは国語、数学、社会、理科、英語の5教科で実施し、技能教科のテストについては、別日に分散し、生徒の負担に配慮しながら実施します。
- ④ 総合的な学習の内容の見直しを図ります。SDGs活動を一つの柱に、3年間を見通した探究的、体験的な学習を進めていきます。SDGs活動については、今年度も生徒会や「小さな公づくり」の活動を通して取り組んできました。生徒からも様々なアイデアが出され、学びへの意欲の高まりがあったものの、活動時間が十分に確保できなかったという反省があります。より深い学びを期待しながら、総合的な学習の時間に位置づけることとしました。
- ④ 直接生徒には関わりませんが、「主体的な学び手」として教師一人一人の指導力を向上させることを目的に、そしてそれを生徒に還元できるように学校研究のやり方を変更します。
- ⑥ 今年度に変更した下記の点については、令和6年度も継続します。
- ・1時間目の始まりを15分早めて8:30とする。
 - ・地区総体、地区新人戦前の2週間は5時間授業として、活動時間時間を確保数とともに早めの帰宅とすることで生徒、教師の負担を軽減する
 - ・PTAの組織、運営のあり方。
 - ・毎年クラス替えを行う(現2年生から)。 等

詳細は4月になりましたら、学校だよりやPTA総会の席上などで説明させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

さて上記の変更点のうち③について少し触れさせていただきます。

今、求められる学力の三要素(児童生徒に育むべき資質)は、「知識・理解・技能」、「思考力・判断力」、「学びに向かう力・人間性」の3つです。そのうち、ペーパーテストで測れる学力は「知識・理解・技能」が中心となります。「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう姿勢・人間性」はペーパーテストだけでは十分に評価をすることは難しいのが現状です。日程的に定期テストを設定することが難しいという理由だけではありません。単元テストをより充実させて基礎基本の定着度を把握し、日々の授業の中での見取りやレポートや制作物、学び合いにより他者と協働して学ぶ力がどれだけ身についたか、学びの過程を通じた思考の変容等を丁寧に見取り、評価をしていくことでより適正な評価・評定につなげていきます。他校では定期テストを完全に廃止する学校も少なくありません。「定期テストを頑張ればいい」、「テストの前だけは勉強しよう」ではなく、日々の学びを大切に、主体的に自分の学びを創っていくことができる生徒を育てていきます。それが中学卒業後の学び、将来の生き方の礎となるものと考えます。

六中生の活躍

【女子バスケットボール】

○庄内町招待中学校バスケットボール大会 第3位
優秀選手賞 樋口一花さん(2-2)